

生涯教育セミナーシラバス

科目名	診療記録の管理手法と監査	科目区分	時間	回数
担当講師	高橋 伯明	中級	90分	--

講義概要

診療記録監査は、診療録の質向上・維持の目的が第一である。現在、多くの施設において診療録は電子化が進み、電子カルテと同意書等のスキャン文書がメインとなり、紙カルテの時代と異なり診療記録監査も複雑になっている。講義では、診療記録監査の意味、必要性を説明するとともに、当院において電子化が進む中で改善が必要と感じている量的監査についての課題と、医師、看護師、部門、診療情報管理士がチームとして実施している質的監査について説明する。また、当院で行っている監査後のフィードバック方法や今後の取組においても説明すると共に、診療情報管理士として行ってきた役割について説明する。

講義の目標

診療記録監査の意味、必要性について理解してもらい、自院で行える取組みや監査方法のイメージを掴んでもらう。また、診療情報管理士として診療記録監査に係る目的と役割を再認識し、自院での取組に役立ててもらおう。

講義内容

- ・診療記録の役割と重要性について説明する
- ・診療記録監査の目的について説明する
- ・質的点検・量的点検について説明する
- ・監査項目など施設の実例を用いて説明する
- ・監査結果のフィードバックについて施設の実例を用いて説明する

生涯教育セミナーシラバス

科目名	診療情報（がん登録）データ活用論	科目区分	時間	回数
担当講師	三橋、初山	中級	90分	--

講義概要

診療情報に関わる様々なデータは、フォーマットが統一され公表されるようになったことで、これらオープンデータを用いた分析が盛んに行われるようになり、医療マーケティング等で効果的に活用することが昨今求められている。しかし、実際は診療情報管理などの日常業務やデータの入力作業に手一杯で、データ活用まで行えていない施設も多いと推察される。

本講義では、活用の手法のヒントをつかむことを目的として、診療情報管理士が扱う代表的なデータである、がん登録とDPCのデータを用いて実際どのように活用できるのか事例も交えながら学習する。また、病院マネジメントの視点からのデータ利活用についても解説する。

講義の目標

- ・ 診療情報に関わるデータの基礎的な知識を身につける。
- ・ がん登録データに関する定義を明らかにして基本的な分析方法について理解できる。
- ・ DPCデータに関する定義を明らかにして基本的な分析方法について理解できる。
- ・ データ視覚化（データビジュアライゼーション）について基礎知識を修得する。
- ・ 病院マネジメントの視点でのデータ活用方法について理解する。

講義内容

1. 診療情報に関わるデータについて
2. がん登録データの活用方法について
3. DPCデータの活用方法について
4. データ視覚化（データビジュアライゼーション）について
5. 病院マネジメントにおけるデータ利活用方法について